都の風 MIYAKO NO KAZE

春号
2023年 No.73

■発行／都会メディカルケアシステム　渡辺　康介
■編集／福利厚生･広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
■ホームページ／https://www.miyakokai-kyoto.com/
■お問い合わせ／ info@miyakokai.or.jp

理念
■患者様･ご利用者様の立場にたったキュア（医療）･ケア（介護）を提供いたします
■医療･介護･福祉を通して地域、社会に貢献いたします
■職員の質の向上をはかります

思川（おもかわ）　春枝（はるえ）様

1921（大正10）年 2月15日生　102 歳

日常と非日常

渡辺西賀茂診療所　医師　川島　和彦

突然ですが、皆様はテレビドラマをご覧になりますでしょうか?どんなドラマに人気があるかを少し調べてみました。①刑事ドラマ②時代劇③医療ドラマ④サスペンスドラマの順だそうです。私見なのですが、非日常を垣間見ることができるところにドラマ人気があるのではないでしょうか。刑事さんのお仕事、お侍さんがいる世界、いずれも普通には経験することができない非日常の世界です。医療ドラマも根強い人気がありますが、「白い巨塔」や「ドクターX」など外科医が主人公になっているドラマが多い気がしませんか?おそらく、手術室の中は密室であり一般の方々にとって最も非日常の世界であることが人気の秘密なのではないでしょうか。そして、「私、失敗しないので」の決まり文句に代表される姿が一般の方にとって理想の外科医像なのかもしれません。

私は長い期間を外科医として過ごしてまいりましたので、この非日常の中に身を置いてまいりました。現実世界の医師から見ると、ドラマの医師は実際とは違うな、荒唐無稽だなと感じる時が多々あります。しかし、ドラマが描く医師像こそが良きにつけ悪しきにつけ一般の方が考える医師像でしょうから、時に理想の姿として時に反面教師としてドラマの中の医師を見てきました。一方、私の知る限り訪問診療医がテレビドラマ化されたことは無いのではと思います。近年は行政が病院での医療から在宅医療へ移行するよう誘導していますし、コロナ禍による面会制限が入院よりも在宅医療へと一般の方の考えを動かしてきているように思われます。訪問診療は医師が皆さまの日常の中にお伺いすることから始まります。私たちが対峙するのはドラマの中の非日常ではなく目の前の日常であり、この日常を如何に維持するかという事が大切になってきます。

私が渡辺西賀茂診療所に勤務して4月で1年を迎えますが、非日常から日常の中に身を移して感じるのは、実は日常の中にこそ様々なドラマが存在しているということです。テレビドラマで描かれることは無いのかもしれませんが、皆さまの日常の中に素敵なドラマを描くお手伝いができればよいなと考えています。これからもよろしくお願いいたします。

都の風 川柳

優秀賞

六甲山で　あそびしわれは　今も夢で
坂本　仁 様

川柳も　コロナ、一色　染流に
つる　廸子 様

佳作

ゆずられし　席ありがたし　あたたかし
小川　昭江 様

老人の　手の温（ぬくも）り　初桜
西賀茂ケア医名 様

次点

元気にて　百才までは　生きるのだ
佐々木 尚江 様

シルバー車（カー）に　力もらいて　花巡り
小川 昭江 様

夢の朝　雪景色顔　だるまかな
山本 春雄 様

征（ゆき）し兄　呼べど届かぬ　冬銀河
西賀茂ケア医名 様

※優秀賞 クオカード一､〇〇〇円分
佳　作 クオカード五〇〇円分
特別賞 クオカード五〇〇円分をそれぞれ贈呈。
「都の風」では引き続き川柳を募集しています。
ご応募お待ちしています。

【宛先】
〒六〇三―八八三一
京都市北区大宮南田尻町59
医療法人社団都会本部３階
「都の風」編集部宛て

クロスワード「答え」

1 ナ B	2 カ	3 タ	ガ	4 イ
5 マ	カ D	イ	■	ラ
エ	■	6 ハ A	7 ダ	カ
■	8 メ	イ	イ C	■
9 ブ	シ	■	10 ク	ダ E

ハナイカダ（花筏）

Facebook QRコード　Instagram QRコード　ホームページ QRコード

新社屋のご案内

事業マネジャー
豊嶋　昭彦

皆様こんにちは。

現在、「医療福祉複合施設にしがも」の東側に建設中の社屋は、「都会地域交流センター　にしがものおうち」（仮称）として、4月末の完成を予定しております。

昨年11月からの工事着工に際し、地域の皆様にはご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

この施設は「地域に開かれた場所」をコンセプトとして、職員の福利厚生と患者様・利用者様・地域の皆様が集えるような場所として提供できるようにと考えております。

竣工時には、是非内覧にお越しください。お待ちしております。

デイサービスセンター つるさんかめさん

西賀茂 デイサービスセンター

鬼とも友達皆笑顔!
西賀茂デイサービスにも福が来ました!

メキシコのお祭りで使われるピニャータといって鬼の顔のくす玉の中にはお菓子が入っています。皆さんに紙の棒で割って頂き楽しみました。

皆さんに球を投げられ「降参しました～!!」

個性豊かな鬼たちが鬼ヶ島から来てくれました。

毎年恒例鬼が太鼓を打って大暴れ!

メドルサム基金

善意の浄財を、皆様のより良い生活のお手伝いのためのボランティア活動に活用させていただきます。
谷　育三様どうもありがとうございました。

ケアマネジャー奮闘記

渡辺西賀茂診療所　介護支援専門員
堤　　裕　亮

「初チャレンジ！ 難病支援のケアマネジメント ～アポなしで府庁へ～」

昨年の夏頃から筋委縮性側索硬化症という難病を患うA様を担当させていただきました。この病気は全身の筋力低下により体を動かせなくなり、発語や食事等ができなくなります。最終的には肺の筋力が弱り呼吸が止まってしまいます。A様は有料老人ホームに入居されていました。発声ができず、コミュニケーションは携帯電話でのメールや五十音の文字盤を指差しする方法をとられていたのですが、指差しが難しくなり次のコミュニケーションの手段として「視線入力装置」の利用を進めることになりました。

「視線入力装置」はパソコンに取り付けて視線を読み取り、文章作成やパソコン操作ができる機械です。“文字盤が使えるうちに視線入力装置を習得してもらいたい”焦る気持ちから、区役所の障害福祉課の窓口で京都府難病相談支援センターに展示品があると聞いた私は“早く視線入力装置の利用を進めたい、少しでも情報が欲しい”と藁にもすがる思いで、京都府庁の重い扉を開け訪問しました。

予約もせずに突然来た私にセンターの職員さんは驚かれていました。しかし、折角来たのでと忙しい時間を割いて視線入力装置を使用させてくださいました。また、他のコミュニケーション方法についても熱心に教えてくださいました。

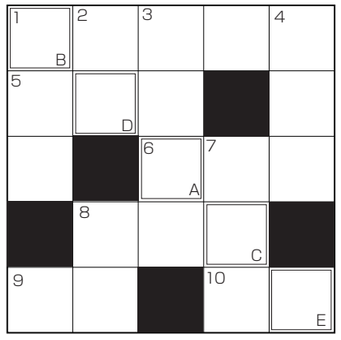
実際に使用すると視線入力装置は視線での操作になるため誤作動が多く、A様が操作を習得していくには根気のいる作業となるため体力的に難しいとの判断に至りましたが、その後もA様は施設の方とは簡単なジェスチャーや文字盤で何とかやりとりを続けられました。しんどい中でも私の話に耳を傾け、笑顔で気丈に振る舞ってくださるA様に感謝しております。

今回私は新しい知識を何とか自分で得ようと“行動”したことで自分のカラを一つやぶれたような気がしています。今度はちゃんとアポ（予約）をとってから府庁を訪れたいと思います。

『クロスワード』

「問題」
A～Eをつなぐと答えです

出題　小田　正



〈たてのカギ〉
1 生まれたら付ける
2 花と果実
3 ぼろ負け
4 ～○○○の波と雲の波
7 仕事の道具は鋸（のこぎり）と鉋（かんな）
8 朝○○前。一膳○○

〈よこのカギ〉
1 昨日の友は今日の敵
5 悪魔の世界
6 ○○○一貫。丸○○○
8 優れた医師
9 二本差し。○○道
10 酔って巻く